

観光振興への 取り組みについて

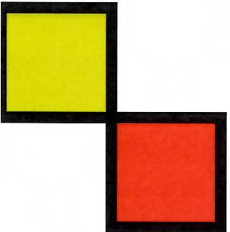


一般社団法人 八潮市観光協会
八潮市商工会



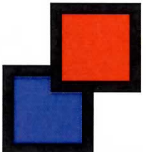
中川やしおフラワーパークの整備事業

- 整備・開園のキッカケ



中川河川敷の約1.3haの場所に四季折々の景観を創出することによって市民の皆さんに憩いの場所として利用して頂くと共に、中川の水辺を利用した観光資源化も図れ、フラワーパークを拠点に観光客の誘致により地域活性化をは図ることを目的に整備を開始しました。

計画当初の花桃植樹・菜の花やコスモスを植え、鑑賞用遊歩道の「フラワーパーク構想」は、社会奉仕団体「八潮ロータリークラブ」から提唱があり、商工会が企画・立案し「商工団体パワーアップ事業」として埼玉県認可の補助事業として、八潮市、地元町会、市内関係団体の協力により進めていきました。



当初計画の

中川やしおフラワーパーク 完成予想図

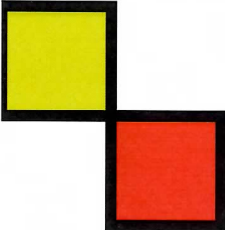
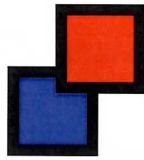
中川やしおフラワーパーク

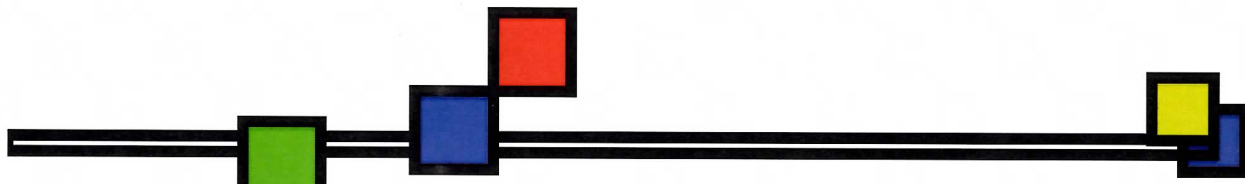
完成予想図



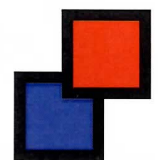
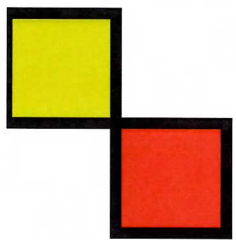


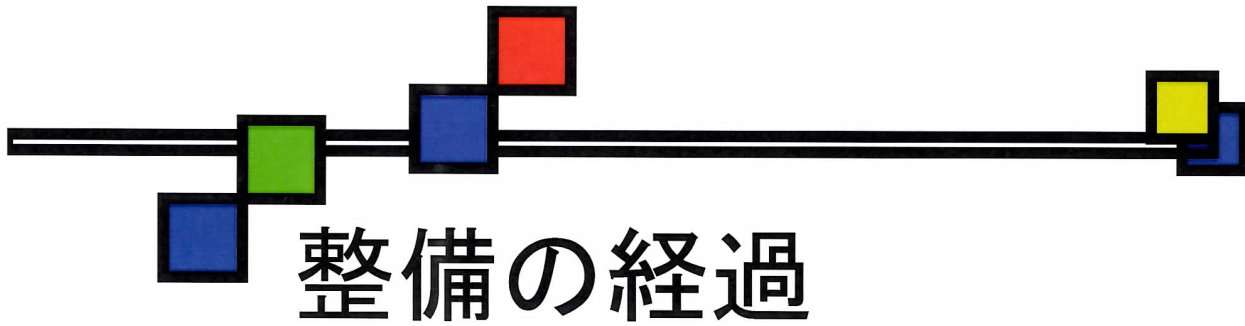
整備を始めた当初

- 
- 平成8年10月に県の認定を受け、翌平成9年3月に開園の運びとなりましたが、当時のこの場所は、自動車や家具、電化製品などの“不法投棄場所”でした。
 - まずは、地元住民の方や関係団体等がボランティアにより自らが草を刈り、ゴミを片付け、土地を掘り返して、石を拾い畑に作り変えました。
 - 管理運営については、開園当初より商工会と観光協会が行なっております。
- 



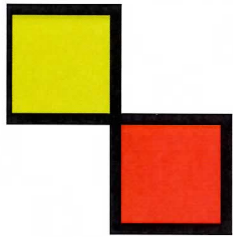
不法投棄のゴミがいっぱいでした

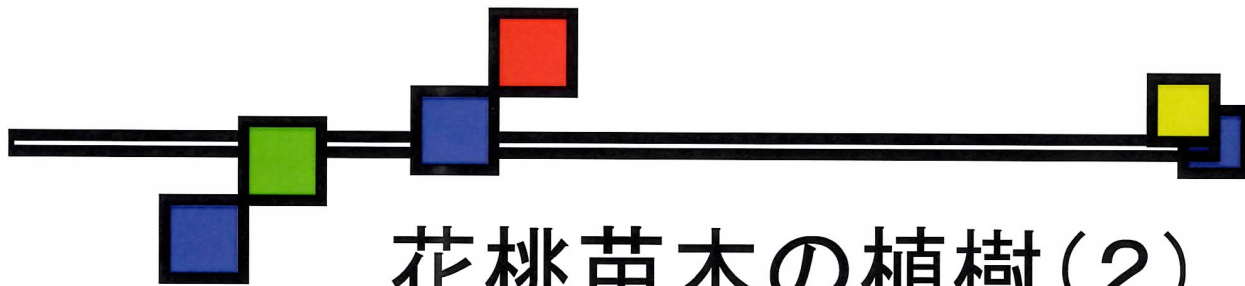




整備の経過

- そこに花桃の苗木を“150本”植樹しました。
- 2年後、花桃は小さな花を咲かせました。この花桃には、里親制度を設け沢山の皆様にご賛同を得て、維持管理の一部に充当させていただいています。
- このフラワーパークを住民の手で育てようと、平成11年に「中川やしおフラワーパークみんなの手で育てる会」が発足しました。





花桃苗木の植樹(2)

